

平成29年度

感想文集



となみ野ベースボールクラブ

発行にあたって

このとなみ野ベースボールクラブは、前身のとなみ野硬式野球クラブから数えて16年目を迎え、今年は中学3年生33名、中学2年生2名、中学1年生2名を合わせ、総勢37名で活動して参りました。

当クラブでは、これまで589名のクラブ員を輩出し、高校・大学で甲子園・神宮を目指す者、プロを目指す者、あるいは社会人となって働きながら野球を楽しむ愛好者たちが巣立っています。

このように、当クラブの活動が地域の野球振興やクラブ員の人間形成に大きく寄与していると評価を戴いているところです。

これもひとえに、学校、保護者、地域の方々のご理解とご協力の賜物であり心から感謝申し上げます。

さて、当クラブでは、クラブ員たちが活動の中で感じた、様々なことをまとめて感想文集を作成し、毎年関係各位に配布しています。また、巣立ったクラブ員が将来この感想文を読み返したときに自らの人生の一助となれば幸いだと願っています。

終りになりますが、野球を通して青少年の野球技術の向上と人間形成を基本方針として更に充実した活動を行うことをお誓い申し上げ、これからも微力ながら砺波地区の野球の振興に貢献できればと考えています。

今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。発行にあたってのご挨拶といたします。

平成29年12月吉日

となみ野ベースボールクラブ

会長 武田 慎一

となみ野ベースボールクラブに参加して

吉江中学校 3年 森田 隼矢

このクラブに入ったとき、中学校の部活動より練習内容が厳しくて、正直大変だなと思っていました。しかし、諦めずに練習を続けていくうちに、自分の技術が上達していきました。また、最初は辛いと思っていた練習もだんだんと辛くなくなり、楽しさに変わっていきました。このことから僕は、諦めずに取り組めば必ず進歩できるということを学びました。

また、このとなみ野ベースボールクラブでは技術だけでなく、気持ちの面でも成長することができました。最初は、みんなについていくように動いていたけど、時間が経つにつれて、だんだんと自分から積極的に動くようになりました。また、打席に立ったときも、最初は、「次の人に繋げればいいや。」という内気な感覚でプレイしていたけど、指導者の皆さんが自分の技術を向上させてくださったおかげで、自分に自信を持つことができ、大会では、「絶対に自分が打つんだ。」という強気な気持ちで打席に立つことができました。

僕は、このとなみ野ベースボールクラブに入ったことで、多くのことを学び、大きく成長することができました。この学んだことや、成長したことをこれからの生活に生かし、さらに高めていきたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

吉江中学校 3年 中筋 功二

この活動を通して、ぼくは技術やあいさつなどが成長できました。

まず、技術面では、コーチにバッティングや外野のバックホームなどの守備、走塁など細かい所まで教えていただき、繰り返し練習してできるようになったことが多くあります。例えば、バッティングで手首を自然にかえずことや顔をぶれないようにしてしっかり最後までボールを見て打つことなど、いろいろなことを教えていただきました。また、それらを克服する練習方法なども教えていただいたので、しっかりやってできるようになりたいです。でも、まだまだできていないことも多くあるので、1つ1つの練習を真剣にやって短所を無くしていき、長所をのばせるようにこれからも頑張っていきます。特に高校では、まずコーチや監督に印象を与えるのが大切なので冬、春と高校に行くまでの時間を無駄にしないようにしたいです。

あいさつはコーチやグラウンド、相手チームなど多くの場面ですることがあったので、とても成長できました。どこで何をしてもあいさつをする場面はあるので、「おねがいます」「ありがとうございました」「こんにちは」などの言葉をしっかり言う人になりたいです。普段の生活でもいい印象を相手に与えられるようなあいさつを心がけたいです。

これからも学んだことを生かして高校へ向けて頑張りたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

吉江中学校 3年 高輪 一貴

実際に入る前は、ほかのチームの人とうまくやれるか、硬式がどんなのかわからなくて不安だったけど入ってみるととても接しやすい人ばかりで楽しく野球をすることができました。

僕が硬式野球に挑戦して一番頑張ったことは、バッティングです。

硬式野球ではバットが変わり、軟式野球で使っていたものよりもだいぶ重たくなって、はじめはバットに振り回されていました。でも、毎日バットを振ると次第にバットが振れるようになりました。けれど、打席にはいると全く自分のスイングができなくて、硬式のピッチャーの速いストレートに当

てるだけのスイングなってしまって全くいい当たりすら打つことができませんでした。でも、コーチの方々にたくさん教えていただいたおかげで最後のほうには少しいい当たりを打つことができました。

まだまだ変化球への対応や守備など頑張らないといけないことがたくさんあるので、このチームでの経験を生かして高校でもがんばりたいです。

また、ここまで野球ができたのもたくさんのコーチの方々のおかげなので、本当にありがとうございました。これからは、教えていただいたバッティングで、たくさんのヒットを打てるようにがんばりたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

吉江中学校 3年 奥野 真浩

僕は、少しでも高校のレベルへ近づけるようにこのベースボールクラブに参加し、野球に取り組みました。

最初は、他校の人と野球をすることに少し不安を感じていましたが、日を重ねるごとに話も増え、良い雰囲気の中で練習することができました。そして、技術面では基礎から細かく教わり、しっかりとした守備や打撃を学ぶことができました。

特に、打撃では色々な欠点を発見していただきました。バットを使ったり、実際に打って見せてもらったりしてわかりやすく教えてくださりました。

そして、試合では回数を重ねるごとに少しずつ前に打球が飛ぶようになり、ヒットも出てきて成長できたなど感じるすることができました。

公式戦では負けてしまったけれど、少ない出場機会の中でヒットを打つことができ、とても嬉しかったし、試合の雰囲気を感じる事ができてとてもいい公式戦だったと思います。

そして、何よりもチーム内での声の掛け合いが大事だと思いました。ヒットが出た時の喜びの声、ミスが出た時の励ましの声、連携の声などたくさんありますが、どれの声かけも試合を作っていくのだなと感じました。

これらの経験を高校での活動に活かしていけるよう意識しながら過ごしていきたいと思いました。

となみ野ベースボールクラブに参加して

吉江中学校 3年 吉田 伊吹

ぼくが、となみ野ベースボールクラブに入ってみて思ったことは、今まで中学校でやってきた部活動と違い、1日練習になり内容も厳しくて大変だということです。また、暑さもあり、より辛いと感じました。しかし、夏休み前から練習に一生懸命取り組んできたので、硬式にも慣れ、自分の技術も少しずつ伸びていくのを感じました。また、練習内容にも慣れ、辛いと感じていた練習も少しずつ辛くなくなっていました。このことから、努力するという事は、本当に大事な事なんだと学ぶことができました。

また、このクラブでは技術面はもちろん、態度面でも学ぶことが多くありました。挨拶をしっかりすることや、道具を大事にすること、何事にも全力で取り組むことなどです。これは、野球をする上ではもちろんのこと、これからの生活でもとても大切なことです。

他にも、気持ちの面では、強気で、全力でプレーするという事を学びました。はじめのころ、ぼくは弱気な気持ちでプレーしていたけど、少しずつご術が上がっていくにつれ、気持ちの面でも成長できました。

ぼくは、このような経験をさせていただいた指導者の方々、支えてくれた家族に感謝し、技術面でも気持ちの面でも成長していきたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

般若中学校 3年 青木 駿太郎

僕がこのチームに入って学んだ事は、更なるチームプレーの大切さです。

中学の軟式野球（部活動）では、小学校からやってきた仲間も多いため、練習でも試合でも自然と声を出し合えて盛り上げていました。しかし、このチームは3年生が集まって出来た即席チームです。慣れない硬式ボールの扱い方とはじめてのメンバーに最初は戸惑って、他の中学校の人に話しかけられず、練習では声を掛け合うことができませんでした。だから僕は、自分から思いっきり声を出し、コミュニケーションをとろうと思いました。試合では積極的に声を出しチームプレーに貢献出来るように頑張りました。

練習、試合を重ねていくうちにチーム全体がまとまっていくのを感じました。最後の公式戦では今までに一番チームプレーが出来ていたと思います。点を取られた時でも守備は声を止めず、攻撃では負けていてもベンチの声は途切れませんでした。その思いが最後に1点を返せた原動力になったんだと思います

時々、調子に乗って迷惑もかけたと思いますが、このチームの仲間と指導者の方々と一緒に出来たことは僕の一生の宝です。監督をはじめコーチの方々、本当にありがとうございました。高校でもこの経験を生かして頑張ります。

となみ野ベースボールクラブに参加して

城端中学校 3年 西村 亮哉

僕は、このとなみ野ベースボールクラブに参加して一番大切だと思ったことは、コミュニケーションをとることです。最初は高校野球に向けて硬式野球に慣れ、技術を向上することを目的にこのクラブに入りました。しかし、一緒にプレーするのは他の学校の選手です。相手のこともよく分からず、どのように接したらいいか分からないことが多くありました。それでも、相手のことが分からないと思うようなプレーができないので「どこの学校？」や「どこ守ってるの？」など多くのことを聞いて、相手のことを理解するようにしました。

試合では自分の納得のいかないプレーが多く、悔しい思いを多くしましたが、どんなときでも声はとぎらせないようにしました。慣れないチームだからこそ、状況確認や励ましの言葉が大切だと思ったからです。何度も練習し、連携が上手くいったときは、とても嬉しかったです。

大会も終わり、これからは今まで以上に受験勉強に力を入れないといけません。そのなかで空いた時間を有効に使い、教えて頂いたトレーニングなどをして高校で良いスタートをきれるようにしたいです。そして大好きな野球を通して今までよりもっと人として成長していきたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

城端中学校 3年 澤田 慎太郎

僕は、となみ野ベースボールに参加する前に目標を持ちました。

その目標とは、「4番を打つ」ことです。小学校から4番を打っていて、絶対に4番から外れたくないと思い、参加しました。また、となみ野ヤンキースではキャプテンも務めました。キャプテンを

務めるのは始めてだったので緊張しました。

練習試合などが始まり、初戦は勝ったもののチームはコミュニケーションがとれずまとまらなく、個人はヒットも打てず良いかたちで入ることができませんでした。しかし、ちがう中学校の仲間たちと練習からコミュニケーションをとり、だんだんとチームがひとつとなり良いかたちで公式戦に入ることができました。

公式戦二戦では、二戦とも負け個人では、また二戦ともヒット一本も打てず毎日続けてきた素振りが意味がないと思いました。でも、いつかは結果が出ると信じ続け素振りをして続けました。そうすると、公式戦ではチームも勝ち、個人ではヒットも打て、最終回では逆転満塁ホームランも打つことができ、公式戦では4割、打点10打点を上げることができ、毎日素振りをやり続けた努力は裏切らないと思いました。最高のかたちで公式戦を終えることができよかったです。また、東西対抗戦のメンバーにも選ばれることもできよかったです。

高校へ行っても大好きな野球を続けていきたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

城端中学校 3年 深田 瑞稀

僕は、となみ野ベースボールクラブに参加して、野球の技術的のことだけでなく、挨拶や礼儀などのことも学ぶことができました。

野球の技術的なことでは、基本的なところから試合での準備や心構えなど、幅広く指導していただきました。

試合前の準備では、今まではバットを振る本数が少なかったけど、コーチに指摘されてからは本数を増やすようにしました。すると、試合で打席に立った時に余裕ができ、からだのキレが良くなって結果が出るようになりました。だから、これからも続けていきたいと思います。他にも、投手をしているときに、リードをキャッチャーといっしょに考えて、サインに反対だと思ったときはしっかり首を振ることができるようにならないといけないということがすごく心に残っています。

また、挨拶などの礼儀の部分では、人の前を通るときは「失礼します」と言わないといけないということなど、今までやってこなかったことも教えていただきました。他にも、人の話を聞くときは、姿勢をよくして、話している人の目を見て聞くようにしなければいけないと再確認しました。野球のときだけでなく、日常生活でも完璧にできるようにしたいです。

今まで指導していただいたことは、今後野球をやっていく上でも非常に役に立つと思うので、忘れないようにしたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

城端中学校 3年 長谷川 彪琉

となみ野ベースボールクラブに参加して、多くのことを教えていただきました。

守備では基本練習を多くして、足をしっかり使うことや、股割り、ゴロ捕球をしたことで前よりも良い捕球体勢でボールを取ることができるようになりました。バッティングでは初球から積極的に狙いに行くことや、利き手の反対側の手を上手く使うことで強い打球が行くようになり、反対方向にもヒットが打てました。ピッチングでは母指球と太腿の内側を意識して投げることでしっかりと体重移動ができるようになりました。変化球を投げる時もいつもより前で投げる意識を持って投げると、いつもよりも投げやすくなりました。走塁では、次の塁を積極的に狙うことやスイングゴウを徹底することを教えていただきました。

となみ野ベースボールクラブに通して最初は軟式とは違い硬式はボールの転がりかたや打球の速さが全然違いとても驚きました。なので、基本練習が改めて大切だと感じました。また、声をかけあうことで次のプレーを確認できたり、自分も考えてプレーすることができました。

高校では教えていただいたことを生かし、基本を大切に活躍できるように頑張りたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

井波中学校 3年 岩元 叶馬

僕がとなみ野ベースボールクラブに参加した理由は、中学校より高いレベルで野球をしたかったのと硬式ボールの野球をしたかったからです。実際にクラブで野球をしてみて、中学校よりレベルが高かったです。

まず僕が苦戦したのは、キャッチャーの役割です。

キャッチャーは、野手に指示を出したり、バッターをどうやったら打ち取るか考えてプレーしたりすごく頭を使うポジションでした。しかし、僕は野手に指示が少なく、リードもあまり考えていなかったです。僕は、指導者から自分からタイムを取ってみろと言われました。最初は、いつ取っていいかわからなかったけど、だんだんタイミングがわかりタイムをとって野手に指示をだすなど、試合の間など分かるようになりました。バッターの打ち取り方も、前の打席の打球や今打ったファールボールなどから判断してリードをするようになりました。

つぎに僕が苦戦したのは、バッティングです。

クラブに参加して相手ピッチャーの球が速くなりタイミングや変化球を空振りするのが増えました。そこで、素振りを見直して変化球がきたのをイメージした素振りや、足の上げ方も少し変えてみました。結果はすぐには出なかったけど、少しずつヒットを打てるようになりました。これからは、打席でいつもの素振りのスイングができないので、できるようにしていきます。

最後に、今まで僕にいろいろな野球のやり方を教えて下さって感謝しています。

高校でも今よりも更にレベルアップします。今までありがとうございます

となみ野ベースボールクラブに参加して

井波中学校 3年 大野 耀太

僕がとなみ野硬式野球クラブに参加した理由は、高校で野球を続けるかどうか決めるためでした。

初めに感じたことは周りがあまり知らない人が多くて緊張しましたが、日に日に仲もよくなり楽しく感じるようになりました。

一つ大変に思ったことは真夏の練習の昼食です。暑さと疲れでそうめんすら喉を通らず午後からの練習がとてきつかったです。

中学校の部活動では一日練習というものがあまり無かったのでついていけるか心配でしたが、なんとか慣れることができたのも友達と励まし合いながら練習できたからだと思います。

硬式ボールを初めて使って思ったことは、軟式ボールとの大きな違いでした。硬さが全く違うのであたるのを恐れてしまい、つい避けてしまいました。そこで基本練習をすることで自然にその練習が身につき、前よりもバウンドを恐れずに捕れるようになったかなと思います。

次にバッティングをして感じたことは、芯で捉えないと手が痛かったことです。しかし軟式ボールよりもボールを打つとすごく飛ぶのでとても気分爽快でした。もっともっと遠くに飛ばせるように努力しようと思いました。

しかし、公式戦では中々出場機会が無く、自分の力の無さにとても悔しい思いをしました。高校ではこの悔しさをバネに絶対にレギュラーを取るという強い気持ちを持って頑張りたいと思います。

短い間でしたが、ご指導頂いた指導者の皆様、野球の道具を準備して下さった父母の皆様、そして家族の皆様本当にありがとうございました。

となみ野ベースボールクラブに参加して

福光中学校 3年 吉崎 翔

僕は、このとなみ野ベースボールクラブでたくさんのことを学び成長できました。

軟式と全然違って慣れるのが遅かったけど初心に戻った感じで改めて野球をできる事がどれだけ楽しく幸せな事なのかを知りました。

最初は、緊張していたけどみんなとコミュニケーションをとっていくうちに自分らしさを出せ、緊張がなくなり、楽しくプレーできるようになりました。また、軟式と硬式ではボールやバットの重さが全然違って少し投げただけでも筋肉痛になりました。

また、この活動を通じてどんな事を聞いてもしっかり教えて下さったコーチの方々、そして何よりも今までより遠くまでの送迎や応援に来てくれた親には、とても感謝しています。

そして、これからはたくさん大変な事もあるだろうし、今まで以上に努力し頑張ることで見えてくる、もっと楽しい野球がきっと待っていると思います。今回このとなみ野ベースボールクラブで学ばせて頂いた事から、どれだけ大変で苦しい時でも感謝し、自分で考え、全力で楽しむこと事を忘れずに、これからもずっと野球を続けていきたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

福光中学校 3年 吉尾 壮

僕は、体が小さいので高校で野球をやれるか心配で迷っていましたが、だから硬式の球で一度でもプレーしたいという気持ちでこのクラブチームに挑戦しました。

練習は高校につながる基礎練習が思った以上に大変でした。硬式の球は大きく重く、慣れるまで時間がかかりました。不安が大きいままのスタートでしたが、徐々に慣れてきた夏休み中の練習でノックを受けている時に、右手に球が当たり骨折してしまいました。

これまで野球をしていてけがをしたことがなかったので、野球ができなくなることは初めてでした。その間、自分のできること、チームのためにできることを考えることができました。練習に復帰したときは、野球ができる喜びで楽しんでプレーできるようになりました。

練習試合に初めて出たときは、初打席でどんづまりのピッチャーフライだったけれど、楽しんでできました。守備では、仲間とのお見合いや遠慮したプレーが反省点でした。また、僕にはバットが重く、自分の体力不足を感じ、体作りが課題です。

硬式を体験して、守備では前より自信ができました。自分の得意な守備で活躍できればと考えられるようになりました。いろいろな課題がありますが、ひとつずつクリアできるように強い心をもって野球に取り組みたいと思います。この経験を高校野球につなげていきたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

庄川中学校 3年 飯田 浩大

僕は、となみ野ベースボールクラブで二つの事を学びました。

一つ目は、チームワークの大切さです。僕は、となみ野マリナーズのキャプテンとしてチームワークを良くする事を考えてやろうとしていました。しかし、中々チームがまとまらず大変な事もたくさんありました。

でも試合後などにチームのみんなと話し合いをしたりして少しずつ雰囲気は良くなり、予選リーグでは一位通過で決勝リーグに出場する事が出来ました。僕は、チームワークは大切だなと改めて思いました。

二つ目は、感謝する事の大切さです。練習では、コーチなどが打撃や守備についてたくさん教えて下さいました。僕は、そのおかげで打撃などがとても上達しました。また、練習や試合の日に送迎や弁当を作ってくれた親にも感謝しています。僕は、この環境で野球をすることができてとても幸せです。

最後に成長できた貴重な経験もあります。それは西選抜に選ばれたことです。西選抜では他のチームメンバーと交流し、互いの技術を認め合ったりして本当にいい経験ができました。この経験を高校でも活かしてがんばりたいです。

このように沢山の学びや経験をさせてくださった監督、コーチの皆さんに本当に感謝しています。高校でも感謝の気持ちを忘れず甲子園を目指して頑張ります。

となみ野ベースボールクラブに参加して

庄川中学校 3年 小西 陸仁

となみ野ベースボールクラブに入って、僕は多くのことを学びました。

このクラブの教訓である「思考・感謝・自立」のおかげで僕は、今までの自分より一段と成長したと感じています。特に成長したところは、感謝する事ができるようになりました。

指導者の皆さんには、野球の技術や礼儀作法など教えていただきました。家族には練習や試合の送迎、食事など協力してもらいました。皆さんに色々とサポートしてもらい感謝しています。

チームが二つに分かれ僕は、となみ野マリナーズの一員になりました。僕は、ショートを守りました。

最初は、ショートで試合に出られて、うれしかったです。でも、1球1球のポジショニングや場面によってのポジショニングが分からず、コーチに怒られました。コーチに教わったことを実践練習でしていくと、段々とポジショニングが分かるようになりました。

次は、外野手や内野手の声かけや、カットプレーについて怒られました。ショートは、とても難しいと思いました。

この4つのことをできるようになるためにたくさん練習しました。この練習をしたおかげで、試合の時にできるようになりました。ポジショニング、声かけ、カットプレーができるようになり僕は、不動のショートになりました。練習を頑張ったかいがあったと思いました。

となみ野ベースボールクラブに入って、野球の上達はもちろん、野球以外のことも学びました。挨拶や礼儀、チームワークの大切さなど色々と学ぶことができました。

このクラブに入って、本当によかったと思います。高校へ行っても、このクラブで教わったことを継続していきたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

庄川中学校 3年 泉 京輔

中学校の軟式野球が終わり 高校野球に向けてとなみ野ベースボールクラブに入りました。

となみ野ベースボールクラブでは たくさんのことを学びました。チームメイトと協力することを学びました。

僕は、人見知りで最初はなかなかしゃべることが出来なかったけど みんながしゃべりかけてくれて、そのおかげで仲良くなることができました。

そして、練習や試合で誰かがミスをした時は励ましあい、勝った時はみんなで喜び、楽しく野球をすることができました。

僕は、チームでは外野手と少しだけピッチャーをやらせてもらいました。外野手は軟式の時からやっていたけど、軟式とは違い硬式はすごく打球が伸びたりして難しかったです。でも、練習や試合を重ねていくごとにだんだんと打球に慣れることができました。

バッティングでは、バットの根っこや先っぽで打つとすごく痛いし、芯で打つとすごく飛びます。軟式と硬式の違いがよくわかりました。

ピッチャーは軟式の時にもすこしやっていたけど硬式でもさせてもらい、いい結果は出せなかったけど、とても楽しく投げる事ができたしとても良い経験ができたと思います。そして 高校では ピッチャーに挑戦したいです。

この機会を与えてくださった、監督コーチのおかげで野球がさらに楽しく好きになりました。

指導者の方々に教えて頂いた事を忘れず、活かせるようにこれからの野球を頑張ります。

勉強もがんばります。

好きな野球が出来ることに、指導者の方々、親、友達に感謝しています。

となみ野ベースボールクラブに参加して

中田中学校 3年 赤阪 大地

僕は、となみ野ベースボールクラブに参加して3ヵ月余りたちましたがやり切ったという思いがあります。初めての夏の暑い向山での練習ではどんなメンバーが集まるのだろうかどんな監督さんやコーチに教えてもらえるのか期待と不安でいっぱいでした。

その日は基本練習がメインで、軟式と硬式の違いを肌で感じる事ができました。打球のはね方が軟式とは違い捕るのが難しかったです。その日のお昼、城端中学校の人たちが話しかけてくれてうれしかったことを覚えています。

マリナーズとヤンキースに分かれてからは、チームで切磋琢磨しあい皆で自分のレベルを高めていきました。予選リーグでは自分なりに思いっきりプレーできたと思います。ですが、射水ボーイズ戦でノーヒット・ノーランをされた時はとても悔しく、自分の練習量の足りなさを痛感しました。決勝リーグでは1回戦で負けてしまいましたが、このチームで今までやってこれたことの充実感を味わいました。

となみ野ベースボールクラブでは、砺波地区の高校グラウンドや球場などで練習や試合をさせていただき、また砺波地区の友達も数多く作ることができました。教えていただいたことを高校でも生かし、更なるレベルアップに務めていきたいと思っています。

となみ野ベースボールクラブに参加して

戸出中学校 3年 沼田 泰人

練習が始まると、参加しているみんなのレベルがとても高く、これからの活動についていけるか心配でした。でも、コーチの方々がやさしく接してくださったので本当に助かりました。

初日の練習は、とても緊張していたことを覚えています。戸出中学校野球部の公式戦での結果は、

初戦敗退、よくても二回戦敗退と強くありませんでした。部活動の練習内容もキツくなかったので、となみ野の練習は、僕にとってキツくて仕方ありませんでした。でも、練習に参加できて、とてもよかったです。

となみ野に参加して学んだことがたくさんありました。僕には、自己アピールするが大切だと気付かされました。野球はやはり、声を出すことが大切です。声を出すことで、緊張がほぐれたり体が温められるので、プレー中の気持ちや内容が変わってくるのですが、出し慣れていないので声が出せず…アピールすることができませんでした。これからは、積極的に声を出してプレーすることを意識していくことが課題になりました。

ヤンキース・マリナーズ両チームが決勝トーナメントに出場できたのでよかったです。僕は、試合に出ることは少なかったけど、試合に出られない時の苦しさや悲しさや、ランナーコーチの大切さに改めて気付くことができました。

4か月間という短い間でしたが、となみ野ベースボールクラブの活動に参加して、野球の技術よりも大切なことに気付いたり学べたり、とても良い経験ができました。暑い夏の1日練習、週に2回の夜間練習、指導者のみなさん、一緒に練習してきた仲間みなさん、ありがとうございました。この先で活躍できるように努力します。

となみ野ベースボールクラブに参加して

出町中学校 3年 伊藤 琢磨

「となみ野ベースボールクラブ」の硬式野球に参加して学んだ事が二つあります。

まず一つ目は、優先順位をつけて行動すること＝考えて行動することを学びました。

自分は、その事を教わり高校野球でもしっかり考えて行動して行きたいと思いました。また、普段の生活でも今自分は何をしなければならないかを常に考え、大事な事から優先順位を決めて行動して行きたいと思います。

二つ目は、本番では100%を出し切ることです。

ある日、チーム全体が本気で試合をしていない時がありました。その時監督が「本気で100%の力を出せ」「ここで本気でやらないと意味がない」などの言葉をかけて下さいました。これを聞き、今まで練習で努力して培ってきたことを本番で「本気」でやるという事が一番重要だと思いました。これからも試合や試験の時自分の100%の力を出し切り、結果を残せる様に今後も頑張ります。

この二つの事を通して高校でも野球の技術向上だけでなく、もし壁にぶつかった時人間としても成長して行ける様、色々な事に取り組んでいきます。

となみ野ベースボールクラブに参加して

出町中学校 3年 大石 太陽

僕は、中学校の野球部を引退した後に硬式野球の案内を頂いて入団しようかどうか悩みました。受験生として大事な時期に、スポーツに時間を割くことに不安を感じたからです。

しかし、これまでライバルだった他の中学校の野球部員と同じチームと一緒に野球してみたいという気持ちが強くなり、入団を決意しました。

入団当初は、中学校ではほぼ無かった一日練習で、体がヘトヘトになり、この先ついていけるか不安でした。しかし、徐々に体が練習に慣れてくるにつれ不安が消えました。

クラブの活動で一番楽しかったのは、やはり他の中学校の仲間たちと一緒に野球ができたことです。ピッチングやバッティング、守備がとても上手い部員や、前向きな言葉でチーム内を明るく盛り

上げる部員、いろいろな部員がおり、いい刺激をたくさん受けました。

全員で力を合わせて戦って予選リーグを突破し、決勝トーナメントに進めた時はとても嬉しかったです。監督やコーチの方々にもいろいろなことを指導して頂きました。感謝しています。

僕は、今後高校に進んでも野球を続けるつもりです。このクラブでの経験を活かしてこれからも頑張っていきたいと思います。

となみ野ベースボールクラブに参加して

出町中学校 3年 小田 虎乃丞

僕は、「となみ野ベースボールクラブ」に参加し4カ月が経ち、活動も残りわずかとなりました。このチームで「自分の今までの野球に対する取り組み方が果たして勝つ為のものだったろうか？」と高校に入る前に見直す良い機会をもらう事ができたと思います。

僕は、「出町中学校軟式野球部」の時、あまり勝つ為の努力をしなくても「試合に出る事ができる」そういう甘い考えがあった事に気づかされました。なぜなら「となみ野ベースボールクラブ」ではレギュラー入りする事ができなかったからです。僕は、今まで「どれだけ甘えていたか」身をもって知る事ができ「これではやっていけない」という危機感を持つ事ができました。さらに技術面では、軟式と硬式のボールの違いを感じる事ができ、高校に入る前に慣れる事ができました。

高校でも野球を続けていこうと思っているので、このチームで学んだ事を最大限生かせるように、この冬は受験勉強をしながら毎日素振りや打撃練習など努力していきたいと思います。

このチームに参加できた事、この仲間と野球ができた事を本当にうれしく思っています。僕が大会最後の試合に打席に入れた事、理想のバッティングができた事を忘れずに、これからも野球を続けます。本当にありがとうございました。

となみ野ベースボールクラブに参加して

出町中学校 3年 鹿嶋 遼斗

僕は、このとなみ野ベースボールクラブに参加して4ヶ月が経って自分が出町中学校軟式野球部の時、努力しなくても試合に出られるという甘い考えがあったことに気づきました。そして、となみ野ベースボールクラブに参加したことで自分の野球に対する取り組み方を見直す事ができたと思います。それでも軟式と硬式のボールの違いから送球ミスやキャッチミスが多く、バッティングでもあまり打てなくて駄目だと思い、毎日素振りをし技術では何事にも全力でやり自分の技術を向上する事ができました。それでも、大会最後の試合でミスをしてしまったので、これからは、受験勉強をしながら練習をしていきたいと思います。

僕は、このチームに参加できた事、この仲間と野球が出来た事を本当に嬉しく思います。このチームで学んだ事を高校でも生かせるように残りわずかな活動も頑張りたいと思います。このチームに参加しいろいろを学ぶことが出来てよかったです。本当にありがとうございました。

となみ野ベースボールクラブに参加して

庄西中学校 3年 武部 拓海

僕は、となみのマリナーズに所属してたくさんのことを学ばせて頂きました。

一つ目は、スイングの起動です。軟式ボールと違い、硬式ボールは非常に固くアッパースイングだと全てフライにしかならないと教わりました。その為、スイングを直さなければならないと言われ、

まずはスイングをアップースイングからレベルスイングに直しました。アップースイングを直すとみるみるヒットが打てるようになり野球が楽しくなりました。

二つ目は、守備です。僕は学校で守備がうまいと言われていましたが、硬式では通用せず苦労しました。ですが、コーチに教わったことをまねするとフライが取れるようになりました。

そして、大会が始まり一番センターで起用してもらい起用に応える事ができました。その後の試合からは青山監督と約束した「しゅちゅりゅいりちゅ」と言う約束を守り出塁を第一に考えたバッティングを心がけました。すると結果がついてくるようになり打率が県5位になりました。自分の自信になりました。東西代表にも選ばれて非常に貴重な体験をさせていただきました。

最後にとなみののコーチの皆様短い期間でしたがたくさんの方を教えてくださいありがとうございました。

となみ野ベースボールクラブに参加して

庄西中学校 3年 嶋倉 連太郎

僕は、このとなみ野ベースボールクラブに約3カ月近くの間参加させてもらいました。

このチームでは、去年の自分達の代になってから何度も戦った同じ地区のライバルだった選手達と同じチームに入って他の地区のクラブチームと戦うという不思議な感じでした。

そして、僕がこのチームに参加させてもらっている中で印象に残っている試合は、2つあります

1試合目は、この大会の予選リーグの初戦で戦った小矢部との試合です。この試合にはサードでスタメンでした。僕は、この試合では一本だけライト前にポテンヒットを打つことができ打点も2つきました。しかし、僕がこの試合で印象に残っているのは、俊希のライトスタンドに突き刺さるホームランです。このホームランは、今でも印象に残っています。

2試合目は、高岡ヤングとの練習試合です。相手の高岡ヤングには、庄西の石野敬真がいるチームでとても強いチームでした。この試合でも一本ヒットを打つことができたことと、高岡ヤングという強いチームと試合をすることができてとても良い経験にすることができました。また、初めて敬真のプレーするところを見る事が出来、楽しかったです。

僕は、このチームでは、副キャプテンとしてキャプテンのサポートをする仕事がありましたが、あまり副キャプテンとしての仕事はできませんでしたが、何度か自分の言った事についてきてくれたマリナーズのメンバーには感謝しています。

総監督、コーチの皆さん短い間でしたがありがとうございました。

となみ野ベースボールクラブに参加して

庄西中学校 3年 池田 壮吾

僕は、8月下旬からとなみ野ベースボールクラブに入りました。

最初は硬式のボールが当たると痛いかも、怪我をしてしまうかもと恐怖心がありました。ゴロは、軟式とは違う跳ね方をするので、ゴロを捕るのに苦労しました。でも、コーチの方々に教えて頂き捕れるようになりました。

バッティングでは、コーチの方に構え方や踏み込み方を修正してもらおうと少しでもバットにボールが当たるようになり、粘り強く打てるようになりました。

3か月という短い間でしたが、となみ野ベースボールクラブに入って、硬式野球について少し学ぶことが出来ました。この経験を活かして、高校へ入っても野球を続けていきたいと思います。

最後になりましたが、丁寧にご指導くださったコーチの皆様、お世話いただいた父兄の皆様、ありがとうございました。

となみ野ベースボールクラブに参加して

庄西中学校 3年 佐々木 新之助

となみ野ベースボールクラブに参加していろいろなことを経験しました。

中学校の部活動では、軟式ボールを使っていたけど、ここでは硬式ボールを使って試合をするので最初は軟式とはボールの重さや打球の速さが違うのでとまどいました。でも、前に出てバウンドを合わせる事が大切だと教わり、練習をやっていくうちに少しずつできるようになりました。

そして、このチームで野球をやって良かったことは、たくさんの人と出会えた事です。中学校でこれまで敵として戦ってきた人がチームメイトとして仲良くなる事が出来てうれしかったです。指導者の方にもきびしいことを言われたりしたけど、いろいろな事を教えてもらいました。ぼくは他の人より体も小さいのでパワーでは勝てませんが、守備やバントなどで自分を生かすという事を教えてもらいました。公式戦でセーフティバントが成功したときは、うれしかったです。

多くの仲間ができたことや、今までと違った環境でプレーができ、大変良い経験をする事ができました。この経験を高校に行っても生かしていきたいと思います。

となみ野ベースボールクラブに参加して

庄西中学校 3年 黒田 俊希

8月で軟式野球も終わり、その後、となみ野ベースボールクラブに参加しました。

チームにはいろんな中学校のメンバーがいて、楽しく野球をすることが出来ました。

また、たくさんの練習試合を組んでもらい、多くのチームと対戦することが出来ました。

9月から富山県少年硬式野球選手権大会の予選リーグが始まり、初戦、チューリップスタジアムでライトスタンドにホームランを打つことが出来て、とてもうれしく思いました。

硬式野球は軟式野球よりも飛距離が伸びるのかと思いましたが、その後は、そんなに簡単にはいかず、打率が伸びなかったことがとても悔しかったです。

予選リーグの結果、決勝トーナメントに進めたこともいい経験となりました。

守備はファーストとピッチャーをさせてもらいましたが、強いと感じた相手チームにはとにかく打たれました。また、相手ピッチャーの球も速く、なかなか打つことが出来ませんでした。

高校に入る前に、硬式野球の経験をすることが出来てよかったです。

今後、高校で野球を続け、もっと速い球を投げて、もっと飛距離を伸ばせるようになりたいと思います。

たくさんの指導者の方に教えていただき、ありがとうございました。

となみ野ベースボールクラブに参加して

庄西中学校 3年 佐伯 成優

僕は、となみ野ベースボールクラブに参加してたくさんの事を学びました。

1つ目は、目上の人に対しての礼儀です。練習前のあいさつ、話を聞くときの態度、姿勢など礼儀だけでもたくさんの事を学びました。

2つ目は、技術的なことです。僕は、ピッチャーなので投球フォームの悪いところを指摘していた

できました。投球時に踏み出す足がまっすぐに踏み出せていないことなど、たくさんのことを教えていただきました。

チームメイトと練習や練習試合をしてくと、公式戦が楽しみになっていきました。公式戦は3連勝することができました。しかし、4戦目の氷見WEST戦で僕が登板して7対0で負けてしまいました。次の決勝リーグでのバンディッツ戦でも、僕が登板して、また9失点してしまいチームが負けてしまいました。チームの足を引っ張ってばかりで、すごく悔しかったです。その試合でチームの公式戦は終わってしまいました。

僕は、東西戦のメンバーに選んでいただいたので、この悔しかった思いを忘れず、選ばれなかった人のためにもベースボールクラブで学んだことを活かして頑張りたいです。また、となみ野ベースボールクラブで学んだことを活かして高校に進学しても活躍できるように頑張ります。

となみ野ベースボールクラブに参加して

庄西中学校 3年 金平 勇希

となみ野ベースボールクラブに参加する前、僕は、不安や心配やボールの違いに恐怖や怖さを抱いていました。「本当に大丈夫なのか？」や「練習についていけるのか？」や「違う中学校の野球部としっかりやっていけるのか」など思っていました。

初めて練習行った時は、一日練習の昼の休憩の時間帯から参加したので、場の雰囲気には最初はなじみませんでした。そして午後の練習が始まると福光の吉崎くんが喋りかけて来ました。今度は、自分から話そうと庄川の小西君や、飯田君などにはしかけてみるととても楽しい感じで喋れました。

そして僕は、セカンドポジションをやらせてもらっていました。ショートには小西君がいました。ノックの時やケースバッティングの時にも積極的に話しかけコミュニケーションをとりました。そうするとゲッターを取ったり、話したとおりのプレーができました。話していくうちに段々と意気があいて、練習では簡単にゲッターを取れるようになりました。「試合でゲッター取りたいね」と二人で話していました。

それでもなかなか試合ではゲッターができませんでした。それでも諦めず練習をしていたら高岡ヤングとの練習試合で初回に6-4-3のゲッターを取ることができました。とても嬉しかったです。次は、「公式戦でしたいな」と話していました。練習試合でもなかなかできなかったのに公式戦で本当にできるのかとても不安がありました。

公式戦では、ゲッターをするチャンスが何度かありました。けれど、慌ててしまいゲッターを取れませんでした。やっぱり公式戦ではできないのかと諦めていました。でも、決勝リーグに行けることになったので、まだチャンスがあると思いました。

相手は、とても強いバンディッツでした。初回に点数を取られ、そのまま5回までいきました。やっぱり公式戦ではゲッターできないのかと思いました。それでも「今できることをやろう」と開きなおりました。1アウトランナー1塁でショートに打球がきました。そして僕は、もう最後だと思い、思いっきりやろうと思いました。そしたら練習試合や、ノックの時よりも一番うまくゲッターを取ることができました。公式戦では、最初で最後のゲッターとなったけど、今までで一番うまくゲッターが取れました。

ノックのちょっとした時間の間でも二人でゲッターの練習や話をしていたのでそのちょっとしたことがこのゲッターができた要因だと思いました。

そして、バッティングや守備は、とても素晴らしい監督やコーチの皆様のおかげで軟式のときよりもうまくなったと思います。

となみ野ベースボールクラブに参加して

庄西中学校 3年 齊藤 健輔

僕は、今回ベースボールクラブに参加し、たくさんの事を学びました。

まず、野球のことで軟式と硬式では全然違い、ボールの跳ね方、当たった時の飛び方が軟式と違い、最初はてこずりましたがだんだんと慣れてきて自分の成長が分かるようになり嬉しかったです。

また、僕は中学校で軟式をしていて県内でも上位のところにはいましたが、硬式だとレベルがとても高く、上位のチームは見ているだけでもすごく参考になりました。そこに刺激され自分自身もっと頑張らないとだめだと思い普段の練習から、しっかりと高い意識をもって取り組むことができたのでよかったです。

僕は、硬式のボールに慣れていなかったのですが、今回となみ野ベースボールクラブを通じて、硬式の楽しさや難しさ軟式との違いをコーチに教われたのでとてもいい勉強になれたと思います。

今までは小学校からの友達もいた中学校の軟式と違い、他校のひととも話すことでコミュニケーションをとることの大切さを学びました。

その人がなにを思い考えているか自分の中で考えプレーのみならず練習からたくさんの人と話すように心がけました。

他校のひとのプレーを見て学べる場所もあつたり自分の苦手なところを教えてもらったり、お互いに切磋琢磨しあえるようになれたと思いました。

今回これらの活動を通じて、僕はとても有意義なものになったと思います。学んだことを無駄にせず高校野球では、より一層精進していけるようにもっと努力していきたいと思いました。

となみ野ベースボールクラブに参加して

吉江中学 2年 小西 翔陽

僕は、このとなみ野ベースボールクラブに入って2年目になりました。

中学校での部活もあり、練習に参加する機会が少ない中でも、硬式のボールで野球、専門的な指導が受けられ、とても勉強になる一年でした。

課題であったバッティングを意識的に練習し、一年前まで下半身が安定していなかった改善点も良くなってきたと思います。試合でも本来、素振りで行っているスイングがバッターボックスで、出来ていなかったものが今では少しずつバッターボックスで同じ振りができるようになりました。

これからのオフシーズンでは、春までに2万回スイングを目標に頑張りたいと思います。そして、今よりもレベルの高いバッティングをしたいです。

ピッチャーでは、まだボール一つ分までのコントロールが出来ていないので、そこまで出来るように徹底的に下半身の強化に冬は力を入れます。また、体幹がとても硬いので体幹ストレッチも同じく行いたいです。

そして来年の春、3年生となり、ピッチング、バッティングのレベルアップはもちろん、上級生として、チームを引っ張っていける選手になりたいと思います。

となみ野ベースボールクラブに参加して

井波中学校 2年 前田 平慈

練習をしていて思った事は、軟式と硬式との違いです。

僕は、まだ2年生で軟式だけど硬式での野球をすることで、楽しさ等が見つかり、高校でもやってみたいと思うようになりました。

練習では、ほとんどが3年生で、まだまだ自分との差がわかったので、これからもしっかり練習をして追い付けるようになりたいです。

これから、自分が上手になれるように頑張っていきたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

吉江中学校 1年 天池 駿斗

僕は、となみ野ベースボールクラブに参加して、バッティング技術だけでなく野球の基本の動きもとても上手にできるようになったと思います。

特に、バッティングでは普段の部活では打たない硬式ボールを打ったりして、コーチの方々にももっと打てるようになるアドバイスをたくさんもらったりして、打球の速さや飛距離ものびて、とても練習の成果が出ていると思いました。

さらに、筋トレのやり方なども詳しく教えていただいたので、学校の部活でもやっていけるようなことばかりでした。その練習のおかげで、試合でもとても強い打球でヒットを打てたりもできるようになりました。

さらに、素振りでもただバットを振るだけでなく、今、何アウトでランナー何塁と考えながら振ることによって、チャンスをイメージして振ることもできるので、とてもいい練習になっています。守備でも、細かい動きやボール回しのやり方なども教えてもらい、学校での練習に取り入れて活用しています。

これからはとなみ野ベースボールクラブでの活動に参加してもっと上手になっていけるようがんばって、今以上に打てるように守れるようになっていきたいです。

となみ野ベースボールクラブに参加して

吉江中学校 1年 金本 悠成

僕が、砺波野ベースボールクラブで学んだことは、バッティングです。

初めて硬式のボールを打った時は、バットも重くてボールも重く、全く自分のスイングができませんでした。

しかし、指導者の方からたくさん教えてもらいました。特に心に残っていることは、しっかり体重移動して、ボールにインパクトを伝えることです。前までは、体の軸が後ろに残りすぎていて、ボールをしっかりとらえることができませんでした。そこで、指導者の方から右足の股関節にしっかり体重をのせ、右足の親指でしっかり回転することで、体全体が回転するということを教わりました。そのことをしっかり意識して打ってみると、いつもより打球が速くなってライナー性の打球を打てるようになりました。

他にも椅子に座って打ったり、連続でボールを打って、上半身の使い方などたくさん教えてもらいました。そして、部活で、バッティングをしてみると、前より遠くに飛ばすことができ、しっかりボールをとらえることができました。

このことをしっかりと意識してバットを振り、まだまだ直さなければならないところがたくさんあるので、これからも頑張りたいです。

